

◆編集後記

5月発行ということで、新入生のみなさんが図書館に親しみを持ってくれるように…と考えて作りました。わからないことや気になることがあったら、カウンターで気軽に声をかけてくださいね(参考調査担当 Maru)

皆さんにとって、図書館はどんなイメージでしょうか?堅苦しい感じ?今号では、図書館の建物・資料・サービスさらには人(スタッフ)まで、惜しみなく暴露してしまいました(笑)(雑誌情報担当 Suda)

新型コロナウイルスの影響で、授業がオンラインになったり、図書館も新年度早々臨時休館したりと、皆さんも戸惑っていらっしゃるかと思います。コロナ収束後は、存分に図書館をご利用ください。(医学部分館担当 Saito)

弘前大学附属図書館報「豊泉」 第51号

発行日：令和2年5月29日

発行：弘前大学附属図書館

編集：弘前大学附属図書館広報委員会
〒036-8560

青森県弘前市文京町1

TEL 0172-39-3162

FAX 0172-39-3171

◆◆◆◆◆図書館員ちょこっとコラム◆◆◆◆◆

ご入学、ご進級おめでとうございます。新生活には慣れましたでしょうか?弘前市はどんなところ?という方も多いと思います。実は生まれも育ちも弘前ですが、まだまだ知らないことがたくさんあります。以前、測量の仕事で弘前市内を歩いて回ったことがあります。普段は車での移動が多いので、歩いて初めて「弘前にこんな道があったのか」と驚きました。そこで弘前の「道」に纏わる“あるある”を少しだけ紹介します。

弘前公園の周辺は高さ規定があるのをご存知でしょうか。コンビニの看板はわりと遠くからでもわかるように設置されていますが弘前公園周辺の看板は低く設置されています。わかりやすいのは弘前公園外堀向かいにある下白銀町の某コンビニです。一番の理由は景観を損なわないためです。これは測量を通して初めてわかったことの一つです。

そしてよく耳にするのは、弘前は【一方通行】が多いということです。学校の周辺は時間帯によって一方通行にしてる道路もありますが、土手町や紺屋町、鍛冶町周辺は一方通行が多いと感じました。特に鍛冶町周辺はナビがないと今でも不安です。

また弘前は【つぎはぎ道路】だけです。綺麗な道路はほぼないのではないのでしょうか。運転すると段差が気になったり、また見た目も良くなかったり。しかし寒い地域には、『襦袢(ボロ)』という使い古した衣類に破布を何度もつぎはぎする文化があります。弘前の道路もボロのようにつぎはぎしているように見えてちょっと面白いですね。

街を歩いてみるといろんな発見ができるかもしれません。何気ない風景にも住んでた地域との違いが見えてくるかもしれませんね。

(ならおか まりこ)

【お詫びと訂正】『豊泉』no.50(2019.11.29発行) p.5

「津軽領元禄国絵図写」について“官立弘前高等学校関係資料の中から発見”と記載していましたが、正しくは“同資料の整理作業中に郷土資料の書庫から偶然発見された”ものでした。ここに訂正させていただくとともにお詫び申し上げます。

—弘大図書館公式 twitter—

弘大図書館に関する情報を発信しています。お気軽にフォローしてみてくださいね。「#弘大図書館」のハッシュタグで、「弘大図書館のここが好き!」「弘大図書館でやってほしいこと」「豊泉読んだ」などのご意見・ご感想を募集中!



@HirosakiUnivLib

